

JTAの健康経営目標と取り組み状況



JTAでは、健康保険組合から、毎年提供される「Wellnessレポート」の結果と「JAL Wellness2025」で設定した重点施策を中心に、自社の健康課題を以下に定め、健康推進活動に取り組んでいます。

健康課題	指標	対象者	(2025年) 最終目標	2021年 目標値	2020年 現在値	2019年
生活習慣病	定期健康診断受診率	社員	100%	100%	100%	100%
	適正体重維持率(BMI18.5~24.9)	社員	80%以上	75%	63.8%	64.9%
	肥満率	社員	28%以下	31%	34.7%	37.6%
	特定保健指導実施率	社員	65%以上	28%	-	14.9%
がん	胃がん検診受診率	社員(35歳以上)	100%	70%	57.2%	55.2%
	大腸がん検診受診率	社員(35歳以上)	100%	75%	70.2%	64.9%
メンタルヘルス	ストレスチェック受検率	社員	100%	95%	89.3%	85.5%
たばこ対策	喫煙率	男性社員	20%以下	18%	21.7%	23.4%
		女性社員	3%以下	0%	0.7%	1.6%
女性の健康	乳がん検診受診率	女性社員(18歳以上)	70%以上	55%	47.4%	36.6%
	子宮がん検診受診率	女性社員(18歳以上)	70%以上	55%	47.7%	35.3%
	女性の痩せ	女性社員(34歳以下)	20%以下	25%	34.5%	42.6%

健康習慣	指標	対象者	(2025年) 最終目標	2021年 目標値	2020年 現在値	2019年
ライフスタイル	運動習慣 (行動期・維持期を合算)	社員	80.0%	75.0%	69.0%	59.0%
	休養が取れる睡眠 (行動期・維持期を合算)	社員	95.0%	90.0%	84.0%	83.0%
	朝食を摂る習慣 (週に4日以上)	社員	85.0%	78.0%	73.0%	78.0%
	適度な飲酒習慣 (行動期・維持期を合算)	社員	95.0%	90.0%	88.0%	86.0%

健康指標関連	測定値	対象者	(2025年) 最終目標	2021年 目標値	2020年 現在値	2019年
アブセンティーズム	傷病による平均欠勤日数	社員	2.3	2.5	2.6	3.3
プレゼンティーズム	東京大学1問方式による生産性低下率	社員	-10%	-14%	-16%	-18%
ワークエンゲージメント	新職業性ストレスチェックの設問(2項目)から把握	社員	3.4	3.2	3.1	3.2

2020年の取り組み

- ・ウェルネスリーダーから、全社員へ健康に関連するメール発信
- ・全社員を対象に、定期健診、婦人科検診の受診勧奨メール発信
- ・産業保健スタッフから再検査・要精密検査・要治療者への医療機関受診案内/その結果報告(12月)
- ・産業保健スタッフによる「こころとからだの健康相談」窓口の設置、周知
- ・全社員に対して、睡眠や食生活、飲酒、メンタルヘルスなど健康習慣に関連する行動変容アンケートの実施：回答率79.9%
- ・各職場で、ラジオ体操の実施を継続
- ・就業時間内完全禁煙の実施(2018年5月より)
- ・JALグループ禁煙サポートプログラム「WEB禁煙外来」への参加啓発
- ・毎週火曜日、産業保健スタッフによる社内メール：たばこ対策「タバコは猫を被っている」を配信
- ・婦人科検診(乳がん・子宮がん)を健康保険組合の補助を活用し、自己負担なしで実施
- ・乳がん検診率向上のための「ピンクリボン沖縄」の啓発活動に賛同し、10月1日～31日の期間中、ピンクリボンバッジ及び肩章を対象社員が着用し、「ピンクリボン運動」を実施
- ・健康経営のノウハウ提供等を通じて、取引先の健康経営の実践を支援している(2021年1件)

2020年の結果及び評価

- ・定期健診の受診率100%を維持できたが、重点指標である適正体重の維持に関する2つの指標のうち、女性の痩せは前年比8.1%の改善がみられたが、肥満率は前年比2.9%悪化となり、課題が残る結果となっています。
また、特定保健指導実施率が高い値とはいえ、次回以降、特定保健指導を活用し、肥満対策にも積極的に取り組んでいきます。